



通信  
No. 7

～まねしてみよう 友だちのよい学び方！ 見つけよう 自分に合った学び方！～

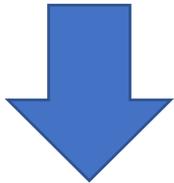
## ㊦と㊧のちがいに気を付けよう。

けテぶれの「テスト」と「練習」のちがいをせつ明できますか？  
ポイントは、「**かだめし**」をするかどうか、です。  
同じべんきょうをするにしても、㊦もあれば㊧もあるんですよ。

たとえば、この書きじゅん。



自分でなにも見ずに1画ずつ  
書き出してみる。



漢字ドリルを見て丸つけを  
する。

**かだめし**を  
している



漢字ドリルを見ながら  
書きじゅんを書く。

㊧は、できなかった問題を、次できるように練習すること。だから㊧に丸つけをしなければいけないことはありません。ただ、算数の問題をとき直したり、もう一度㊦にちょうせんしたりする人もいます。そういうときは、丸つけをしたほうがいいですね。

㊦ができるときはかならずやりましょう！

テとれのちがいを正しく  
理かいして、けテぶれを  
がんばりましょう！